kosei
生かされ、生きるチカラ。

善縁で育む“家族”の絆

三鷹教会　Aさん

Aさんは、親の虐待や病気などのために親元で暮らせない子どもを家庭で受け入れる里親制度に平成19年に登録した。ちょうど二人の娘の子育てが一段落した頃で、昔から養育里親に興味があった妻の提案だった。土屋さん自身、仏教から学び、信条としてきた「相手にとって善い縁になる」という願いがあり、「子どもたちにも、暖かく見守られて育つ権利がある。自分たちがその縁となれたら…」という思いからだった。平成20年に4歳の女の子、その後、平成30年に3歳の男の子を迎え入れた。Aさん夫妻は、さまざまなトラブルが起きてもけっして感情的にならず、辛抱強くふれあう。まさに二人三脚の活動だ。迎え入れた子どもが心を開き、少しずつ成長するさまに、《家族は血のつながりだけじゃなく、生活をともにして家族になっていく》そう実感できることが、何よりもうれしいとAさんは語る。

みんなの幸せを願う心――智慧②

この世に固定的に実体があるものは何一つなくて、現実世界に存在するものはすべて相互の関係性〈縁〉によって仮に成り立っている――という「空」の教えは、六波羅蜜の「智慧」を身につけるヒントになります。では、その「空」をどう受けとめ、生活のなかで活用すれば智慧をいただくことになるのか。

ある仏教思想家は、法華経で教える諸法実相の意味を、わかりやすく「この宇宙に存在するもので、なくていいものは一つもない」と説明し、それは「空」と同じ見方だといいます。ところが、私たちは「なぜか、クモはわるもの、チョウはいいものと分別（差別）」するなど、しなくてもいい無用な差別をしているというのです。

そういう差別と、必要な区別の違いを判断できる智慧をもったうえで、すべてのものに仏のいのちが宿っていることをしっかりと心にとめて、「好きな人・嫌いな人のいずれも、仏のいのちをもった人」と見る見方が、みんなが仲よく幸せに暮らすための活きた智慧だということです。

立正佼成会
〒166-8537 東京都杉並区和田2丁目11番1号　TEL.03-5341-1615
Eメール：info@kosei-kai.or.jp　www.kosei-kai.or.jp